

地域に身近な 施設づくりをめざして

白光園 園長 福田 芳郎

卯年から辰年へ、年が明け平成24年がスタートしました。昨年を振り返って見ますと、東日本大震災とその後の余震、福島原発の放射能汚染、大雨と台風被害など災害の多い年になってしまいました。その災害の実情を知るほどに被災地の方々のご苦労と今後の復興の困難さを覚えてまいります。

白光園におきましては、3・11の震災後、停電による問題が生じましたが、地域住民の皆様から絶大なるご支援を得まして、大きな被害もなく過ごさせていただけました。震災で得た教訓を生かし、在宅酸素やたんの吸

引器等の機材を24時間稼働させる電源確保として、山形県の補助金を受け、発電機4台を配備いたしました。今後も職員一同気を引き締め、有事に対して一人ひとりの力が十二分に発揮できるように防災活動に取り組んでいきたいと思っております。

又、昨年の春にはインフルエンザの流行により、短期入所事業所の在宅系サービスにおいて、1週間程度の受入休止を余儀なくされ、ご利用者、ご家族の皆様には大変ご迷惑をおかけしました。今年は、予防接種をサービス利用の方へお願いし感染予防に努めているところであります。

す。

さて当施設は、開設してから32年が経過しました。関係各位並びに地域の皆様方のご指導とご協力を頂きまして概ね順調な運営を続けることができましたこと、深く感謝申し上げます。当施設の各事業所におけるご利用者も、高齢化・重度化が進行している状況ですが、より一層の質の高いサービスを提供できるように努めてまいります。

今、介護現場では、専門性の高い介護（科学的介護）をめざし、介護職員の医療的知識及び技術の向上のための研修や、ケア連携体制強化に取り組んでおります。



また、今年は3年に1度の介護報酬改定の年であり、働く施設職員にとっては大きな関心事であります。今後、国が示す改定通知を職員で共有し、慎重に対処してまいりたいと存じます。

今年が辰年、飛躍・隆盛で昇り竜のごとく運氣が上がり皆様に幸運が舞い立つ年でありますようご期待いたします。